

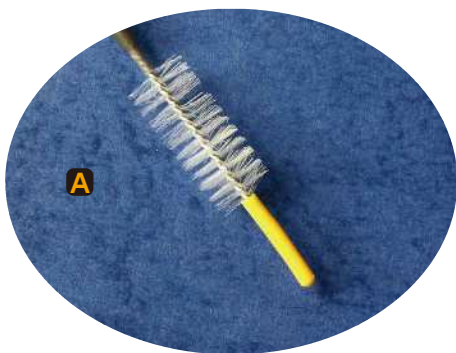
内視鏡洗浄の質について考えてみませんか？

「WGO-OMGE/OMED 内視鏡洗浄消毒に関する実践ガイドライン」においても「最も望ましい基準」として使い捨てのブラシの使用が推奨されています。

日本消化器内視鏡学会洗浄消毒ガイドラインおよび WGO-OMGE/OMED 内視鏡洗浄消毒に関する実践ガイドラインにおいても「付属部品、吸引チャンネル・鉗子孔」のブラッシングが必須事項とされています。

しかし、ブラシが劣化していると十分な洗浄効果が得られません。

吸引チャンネル・鉗子孔洗浄用ブラシ



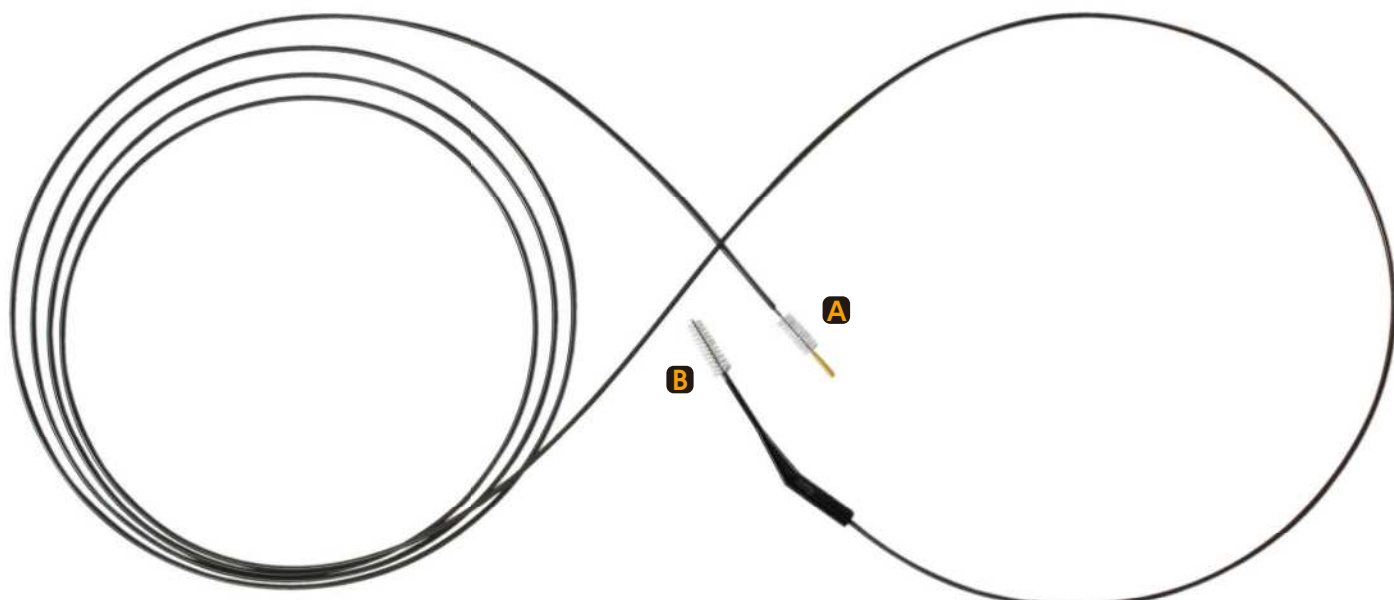
洗浄は内視鏡の洗浄消毒の中で最も重要なステップであり、内視鏡の洗浄消毒のためのほとんどのガイドラインは下記のステップを規定している。

「WGO-OMGE/OMED 内視鏡洗浄消毒に関する実践ガイドライン訳文」【最も望ましい基準】より抜粋

- ① 予備洗浄：酵素洗剤を吸引することによって、内部の大まかな汚物を洗浄する（250ml/分）。あらゆる血液、粘液、その他の汚物を除去する。送気・送水チャンネルに注水し、挿入部を拭う。噛み跡、もしくはその他の表面の異常がないか点検する。光源/ビデオプロセッサから内視鏡を取り外す。密閉容器に入れて洗浄消毒室へ搬送する。
- ② 洗浄：漏水検査および詰まり検査を実施する。すべての表面を洗浄し、チャンネルと鉗子栓などの付属品をブラッシングする。使い捨てのブラシと、使い捨てのスポンジもしくは不織布やけば立たないガーゼなどを用いる。新たな工程ごとに洗浄液を取り換える。次の工程の前に容器を洗浄し、すすぐ。
- ③ 消毒（自動内視鏡洗浄消毒装置）：適切な洗浄液を用いた洗浄。すすぐ。
- ④ 最終すすぎ。
- ⑤ 乾燥：定められた品質の圧縮空気による送気あるいは70%アルコールを用いて乾燥する。
- ⑥ 保管。

参考資料：

Practice Guideline Endoscope Disinfection (WGO-OMGE/OMED 内視鏡洗浄消毒に関する実践ガイドライン訳文) 2005年12月、発行:有限責任中間法人 日本消化器内視鏡技師会

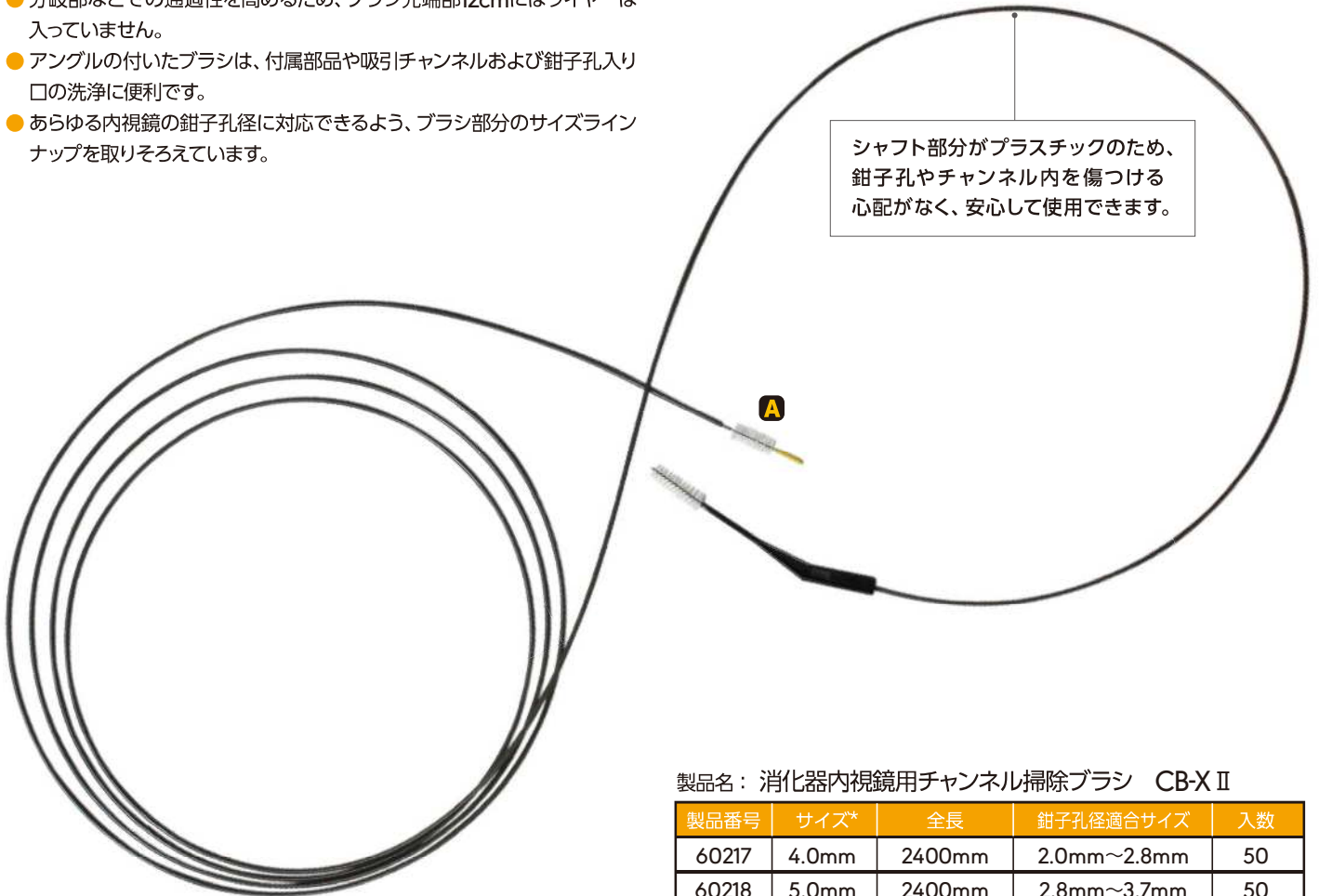


CB-X II Dual-Ended Cleaning Brush

CB-X II 消化器内視鏡用チャンネル掃除ブラシ

特長

- 内視鏡チャンネル内の通過性を高めるため、洗浄用ブラシ先端はソフトになっています。
- ブラシの操作性を高めるため、シャフト内にワイヤーが入っています。
- 分岐部などでの通過性を高めるため、ブラシ先端部12cmにはワイヤーは入っていません。
- アングルの付いたブラシは、付属部品や吸引チャンネルおよび鉗子孔入り口の洗浄に便利です。
- あらゆる内視鏡の鉗子孔径に対応できるように、ブラシ部分のサイズラインナップを取りそろえています。



製品名：消化器内視鏡用チャンネル掃除ブラシ CB-X II

製品番号	サイズ*	全長	鉗子孔径適合サイズ	入数
60217	4.0mm	2400mm	2.0mm～2.8mm	50
60218	5.0mm	2400mm	2.8mm～3.7mm	50
60219	6.0mm	2400mm	3.8mm～	50
60223	4.0mm	2400mm	2.0mm～2.8mm	10
60224	5.0mm	2400mm	2.8mm～3.7mm	10
60225	6.0mm	2400mm	3.8mm～	10

*サイズは上記写真Aのブラシの毛の長さです。

※未滅菌、単回使用。非医療機器

製造販売元：

アバノス・メディカル・ジャパン・インク

〒220-8115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー

Tel. (045) 682-5150

Fax. (045) 682-5154

製品に関するお問い合わせ：FreeCall 0800-100-5100

AVANOS

www.avanos.jp

*Registered Trademark or Trademark of Avanos Medical, Inc., or its affiliates.

©2019 AVNS. All rights reserved.

19DMKT16-B